

人工骨頭置換術の手術を受けた 患者様へのお願い

近江八幡市立総合医療センターの手術室では「人工骨頭置換術患者の手術部位感染症対策の妥当性の検討」という看護研究を行っております。この研究の目的は、現状の手術部位感染症の対策の実態把握と統一した対策を実践することで手術部位感染症が減少するか比較検証することです。そのため、2021年11月から2022年10月までの人工骨頭置換術を受けられた患者様を対象に電子カルテの診療録等から手術前後のデータを使用させていただきます。

以下の内容をご確認ください。

* 研究・調査期間

研究期間：倫理委員会承認後 ～ 2028年3月31日まで

対象調査期間：2021年11月1日～2022年10月31日まで

* 今回の研究の対象は、人工骨頭置換術の手術治療を受けられた患者様の電子カルテのデータです。

* 過去のデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、データを使用させて頂いた患者様への謝礼等ありません。

* 使用するデータは、個人が特定されないように匿名化を行い、個人情報に関しては厳重に管理します。

* 調査研究の成果は、学会などの発表に使用しますが、名前など個人を特定するような情報が公開されることはなく、個人情報は守られます。

もし、今回のデータ使用について同意をいただけない場合には、いつでも構いませんので、お手数ですが下記の問い合わせ先までご連絡ください。

また、了承の有無にかかわらず、患者様に不利益が生じることはございません。

【問い合わせ先】

近江八幡市立総合医療センター

研究責任者：看護部手術室 松本美里

TEL 0748-33-3151 (代)

2024年4月11日